

提出年月日 6. 10. 30

受理年月日 6. 10. 30

陳情第15

石岡市の耕作放棄地解消における甘薯（紅はるか等）、
小玉スイカなどの生産振興施策の実施を求める陳情

日頃より、貴職には、若年者も高齢者も生きがいをもって、生き活きと生活できるまち石岡、さらに魅力的で、市外から大勢の来客者をお迎えし、活力溢れた石岡市を創るために、日々ご尽力され誠にありがとうございます。

さて、農産物生産者は、国民へ安全・安心な農産物を提供するという責務を持って農産物生産を続けてきております。

ネットニュースやSNSなどでは、将来、世界的な食糧危機がやってくるので、世界の人口を抑制しようという話も出ている状況です。

そのため、一般社団法人 農林水産業みらい基金、茨城県農林水産部補助事業を取入れ、石岡市の豊かな農地等を有効的に活用し、機械化農業を推進し、高齢者にも作業の負担をかけない紅はるか、小玉スイカなどの生産を振興させて生き活きと生活できる石岡市を取り戻すべきです。

我が国の主食、米は、令和6年度は価格が上昇しましたが、依然、生産過剰の状況ですので、今後も米価価格の下落に歯止めをかけることはできません。紅はるかは、加工品いわゆる6次産業化として、非常食として消費者へ提供して大変喜ばれております。石岡市の特産品として、市内観光施設で販売し、生産者も消費者も喜ばれる商品となるでしょう。

紅はるか、小玉スイカなどを特産品として推進して、当市の耕作放棄地解消のための施策として実施して下さるよう陳情いたします。

【委員長報告要旨】

委員からは、「二、三年前から茨城県では、山林の開墾をし、サツマイモを作った者には、開墾をしたときの整地費も含めて補助金を出した結果、作付の増大から、価格の下落があった。そういったことも含め、この作付を推進するのは、いいことではあろうと思うが、まず石岡市としては、農業委員会をとおして、耕作放棄地の解消をできるだけ早急に進めてもらい、そののちに陳情についても、今後、精査をしていくというふうな形のほうがいいのではないか」などの意見が出されました。

【結果】

不採択